



平成27年12月25日発行

体験プログラムの実施方法を学ぶ

「インストラクター研修開催」

「本協議会で誘致に取り組み体験型教育旅行」で庄原市へ訪れてもらうには、民泊体験だけでなく、農山村ならではの生活体験や自然体験などの体験プログラムが必要で、そこで、体験プログラムの磨き上げや新規開発、新たなインストラクターの確保やスキルアップを目的とした地域の特性を活かしたプログラムづくりと併せて研修会を実施しました。

講師の松原氏は、「研修は振り返りが大事。課題や気づきを共有してはじめて、インストラクターのスキルアップ、プログラムのブラッシュアップを図ることができると話し、どの研修でも研修で得た気づきや課題などを参加者全員で振り返り、共有し、今後へ繋がる研修となりました。

インストラクターといっても難しく考える必要はありません。来年度も引き続き研修を実施しますので、ぜひご参加ください！

10月は東城町帝釈峡でトレッキング体験、11月は高野町でりんご作業体験、12月は庄原市街地でそば打ち体験と地域ごとにテーマを設定し、3地域で実施しました。講師には、県内で観光振興や教育旅行などのツアーリズム事業に携わられている、ひろしまワークショップの松原さんを迎え、体験プログラムデザインのポイントや、インストラクターの指導技術、心構えなどについて学びました。

各回とも座学と実地研修による2日間の開催で、延べ58人が参加しました。

りんご作業体験



そば打ち体験

講座の様子



トレッキング体験

「民泊誘致に向けて」 関西プロモーションを実施

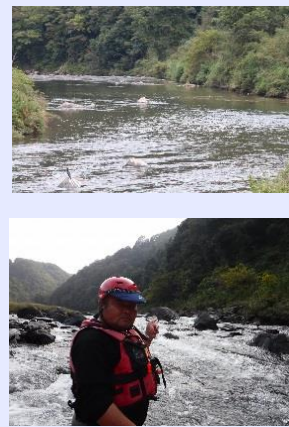
11月16日・17日の2日間で大阪・神戸を中心として旅行社8社16営業所を回り、庄原市の教育旅行の誘致プロモーションを行いました。旅行社は「関西からはアクセス良く、近い。ラフティンク体験など魅力あるプログラムがあれば庄原市へ誘致したい」と話していました。

現在、平成29年度の中高生修学旅行の誘致は厳しい状況です。旅行会社からニーズの高い体験プログラムの整備を進めるとともに、引き続き首都圏（1月12日～15日）、中部圏（2月2日～5日）の営業を行い、平成30年度の誘致に積極的に取り組みます。

新規プログラム開発に向け フィールド調査実施

旅行社のニーズをもとに、西城川を体験場所とした新規プログラム「ラフティング体験」などの開発に向け、フィールド調査を10月に行いました。1年の中でも最も水量が少ない時期でしたが、体験場所としては問題ないことを確認しました。

今後は各関係機関との調整や物品・実施者の確保など、開発に向け検討・調整を重ねていきます。



県内小学校向け モニター助成制度の策定

県外の中高生以外にも県内の小学生を対象に誘致活動を行っています。

この度、県内の小学校を対象としてモニター受入の助成制度を創設しました。これにより、県内小学校の課題であった予算面での壁を取り除き、早期の学校受入れを期待することができそうです。現在、すでに営業を行った学校へ対して、再度アプローチをかけています。

未来を担う子どもたちへ...
これからの社会を生きる力を。

庄原市さとやま体験交流協議会 事務局
(庄原市観光協会:担当 曾根・福光) 0824-75-0173

参加者募集!

「農家民泊」のぞいてみよう!

「農家民泊」のぞいてみよう! 1月12日(火) 13:30~16:30 (開場 13:00)

場所 比和自治振興センター

参加費 500円 (定員 50名)

主催 比和自治振興センター

TEL 0824-73-1209

庄原市自治振興区連合会主催
まちづくり実践セミナー開催
「庄原の農家民泊を
のぞいてみよう!」

今回は庄原市内で「農家民泊」に取り組まれ、受け入れを行っている3つの地域を紹介します。民泊に参加した子どもたちや受入地域に、どのような効果をもたらすのか考え、庄原におけるこれからの「農家民泊」の可能性を探ります。

講演/奥田順紀氏(比和町)

藤元竜二郎氏(高野町)

上西みどり氏(西城町)

日時/平成28年1月12日(火)

13時30分~16時30分

場所/比和自治振興センター

参加費/500円(茶菓子付き)

定員/50名

締切/平成28年1月7日(木)

申込/問合せ/庄原市自治振興区

連合会 事務局(徳岡さん)

TEL/0824-73-1209

参加者募集!

「1泊2日の民泊体験
視察研修開催!」

徳島県の西部で広域連携による民泊受入を行っている「そのの郷」への視察研修を1泊2日で実施します。実際の民泊家庭に泊まり、一緒に実体験の「民泊」を通して学んでみませんか。

日時/平成28年1月22日(金)

23日(土)

場所/徳島県三好市近郊

参加費/7,500円

(昼食は別途実費)

定員/25名

締切/平成28年1月14日(木)

申込/0824-75-0173



参加者募集!

「第12回全国ほんもの
体験フォーラム開催」
(今回は福島開催予定)

今回で12回目を迎える「全国ほんもの体験フォーラム」が3月に高知県で開催されます。全国各地から体験型教育旅行に携わり活躍されている方々が集まり、パネルディスカッションが行われるほか、分科会に参加しプログラムの体験もできます。教育旅行の重要性・意義を再確認するとともに、受入に向けた課題解決のヒントとなるフォーラムとなります。

次回の開催は、福島と遠く近場で参加可能な絶好のチャンスですので、ぜひご参加ください!

日時/平成28年

3月25日(金)~26日(土)

場所/高知県四万十市及び

高知市近郊

参加費/9,000円

(26日の昼食は別途実費)

定員/25名

締切/平成28年2月4日(木)

申込/0824-75-0173

第12回全国ほんもの体験フォーラム in 高知

3月25日(金)~26日(土)

高知市近郊

参加費/9,000円

定員/25名

締切/平成28年2月4日(木)

申込/0824-75-0173

参加レポート

北広島町で開催!田舎創生を考える
「農山村体験シンポジウム」

11月28日に北広島町で開催されたシンポジウムに参加。北広島町の民泊家庭を中心に200人以上の参加者が訪れ会場は熱気に包まれていました。

第一部では「農山村の魅力と体験交流活動の今後」と題し講演が行われたほか、北広島町の農山村体験を経験した児童による事例発表があり、「思い出は消えない。日を追うごとに民泊家庭のおじちゃん、おばちゃんへの思いは増すばかり」と北広島町で得た感動を語りました。

第二部のパネルディスカッションには比和町で農山村体験に携わっている奥田順紀さんや、北広島町へ毎年訪れている江田島市立柿裏小の三宅校長、北広島町の民泊家庭などがパネラーとして参加し、それぞれの思いを語りました。三宅校長は「北広島町での体験は、子ども達にとってお金に変えることのできない体験。私がある限り、続けていく」と体験への思いを話しました。

庄原市でも訪れた方々の心に残る体験を提供できるよう、民泊家庭やインストラクター、その他この事業を支えてくださる方々と連携を取りながら、事業を進めていきたいと思っております。



↑シンポジウムの様子